

地質ニュース

第532号 1998年12月

口 絵

北米ワシントンD.C.近郊の小規模な自然史系博物館	大石 雅之
自然史博物館の収蔵庫と標本の利用 1 -アメリカ合衆国国立自然史博物館-	大石 雅之
自然史博物館の収蔵庫と標本の利用 2 -ブリュッセルとロンドン-	大石 雅之
自然史博物館の収蔵庫と標本の利用 3 -ニュージーランドの博物館-	岡崎 美彦
自然史博物館の収蔵庫と標本の利用 4 -ドイツ：国立シュトゥットガルト自然史博物館-	佐藤 喜男

巻頭エッセイ：博物館と私	豊 遙秋・10
--------------	---------

特集：今、自然史系博物館は…

「今、自然史系博物館は…」の特集号にあたって	豊 遙秋・11
シンポジウム「今、自然史系博物館は…」を終えて	松岡 敬二・12
これからの博物館の役割と機能 -欧米の自然史博物館の最近の事例に学ぶ-	真鍋 真・森田 利仁・斎藤 靖二・14
「開かれた博物館」とは何だろう -市民の側から見た公立自然史博物館-	青島 睦治・20
博物館展示のこれからのあり方	後藤 道治・高橋 啓一・24
博物館の現場からみた学芸員のかかえる諸問題	大石 雅之・竹谷陽二郎・成田 健・28
自然史資料の収集・保管と利用	斎藤 靖二・森 啓・35
地質標本データベース研究の現状	柳沢 幸夫・松江千佐世・牧本 博・41
地質標本館所蔵標本の利用-鉱物標本の例-	豊 遙秋・49
博物館における研究の重要性、完新世の貝類を研究素材に -ローカルからグローバルへ-	松島 義章・53
博物館における研究の重要性、亜深海の貝類を研究材料に -グローバルからローカルへ-	蟹江 康光・58

火山灰(テフラ)層の広域対比	吉川 清志・62
----------------	----------

地質標本館だより	67
地質ニュース1998年 総目次	70
編集後記	74

表 紙

秋田県荒川鉱山産石英群晶：高さ130cm，横幅130cmの大型標本で1998年8月笠間市の河野雅英，長堀克己，国井元夫，青木 正，富田光一，館 勝利，田中正吾の各氏の御好意で寄贈された。銅，鉛，亜鉛を伴う第三紀中新世の頁岩中の浅熱水性石英脈で本標本は旧鉱山地域の碎石場で採集されたものである。鉱脈の空隙に透明な水晶が無数に見られ，黄銅鉱結晶を伴う。

(写真と文：地質調査所 地質標本館 豊 遙秋)

通商産業省
工業技術院

地質調査所

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3504

Geological Survey of Japan

<http://www.gsj.go.jp/HomePageJP.html>